

計画の名称	福岡県における河川を身近に感じられる環境整備													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	福岡県													
計画の目標	・ 那珂川の中流域は、都市化が進む福岡市において自然環境が残る貴重な空間であり、沿線の住民から都市部における街のオアシスとしての親水機能が強く求められている。 ・ 那珂川の高水敷等の整備を行い、河川を身近に感じられる空間を創出することにより、点在する河川公園を接続させて沿線住民の満足度の向上を図る。 ・ 諏訪川の管理用通路を整備することにより、世界遺産等個々の拠点や水辺空間を中心としたネットワークを構築することにより、地域の活性化を促進する。 ・ 高良川の管理用通路を整備し水辺空間の魅力を高めることで、周辺施設との回遊性を高め観光・交流ネットワークの構築、地域の活性化を推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,854	A	1,854	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	河川環境整備事業を実施することにより、周辺施設との回遊性を高め水辺空間を中心とした観光・交流ネットワークを構築するための管理用通路の延長を1,620m（R2当初）から8,200m（R6末）に増加させる。			
	周辺施設との回遊性を高め水辺空間を中心とした観光・交流ネットワークを構築するための管理用通路の整備延長	1620m	m	8200m

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

※全体事業費や事業実施期間は、あくまで計画時点の数値である。予算確保の状況や用地買収の進捗などによって、適宜計画の見直しを行っている。

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
その他総合的な治水 事業	A08-001	総合治水	一般	福岡県	直接	福岡県	環境	－	河川環境整備事業（那珂 川）	高水敷、管理用通路整備等	福岡市	■	■	■	■	■	744		－	
	A08-002	総合治水	一般	福岡県	直接	福岡県	環境	－	河川環境整備事業（諏訪 川）	管理用通路整備等	大牟田市	■	■	■	■	■	310	1.09	－	
	A08-003	総合治水	一般	福岡県	直接	福岡県	環境	－	河川環境整備事業（高良 川）	管理用通路整備等	久留米市	■	■	■	■	■	800	4.16	－	
												小計						1,854		
											合計						1,854			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	173	204	145	143	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	173	204	145	143	
前年度からの繰越額 (d)	0	92	142	78	
支払済額 (e)	81	151	209	128	
翌年度繰越額 (f)	92	142	78	93	
うち未契約繰越額 (g)	57	67	41	3	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	3	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	32.94	23.64	14.28	1.35	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	地元調整に時間を要したため	地元調整に時間を要したたこと及び補正予算によるものの	地元調整に時間を要したため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 福岡県における河川を身近に感じられる環境整備

[illegible]